



2012/13 Weekly Bulletin

国際ロータリー第2790地区第3分地区B

市原ロータリークラブ会報



事務局

市原市五井 5584-1
TEL:0438-38-3535

第2394回例会

2012年3月6日(水)

SAA / 会員

会報担当平野会員

例会場

五井グランドホテル

★点 鐘 市原 RC 会長 小川長二

★ソング 手に手をつないで

★プログラム 卓話: 白鳥政孝会員

★お客様千葉緑 RC 中島東一会長 核福男新世代委員長

Peace Through Service

世間の広さや人生観、趣味において感化されて、価値観が変化し、人生に豊かな彩をもたらしています。これは私にとってロータリーの恩恵というか、ロータリーからの素晴らしい贈り物であると思います。

卓話の機会を頂きありがとうございます。与えられた演題は市原 RC の歴史ですが、歴史や体験談を語る場合、“1・1・8”という割合の数字があります。最初の1は自身が体験したことを誠実に語る人、二番目の1は虚偽ではないが、聞き手が知らないであろうと判断して粉飾を交える人、例えば随行していたに過ぎないのにさも主役で行ったようなことを言う。三番目の8は歳月の中で多分に美化したり、脚色したりして語る人。その割合が1割、1割、8割ということです。

私は最初の1割のところで誠実に語るつもりですが、これがなかなか難しい。それで当クラブの年表をご覧戴くのが最もよいのではないかと思います。40周年の記念誌に掲載した市原 RC の40年間の年表お手元に配布しました。この他、第22~39代の歴代会長の思いや創立時のエピソードなども収録されているので、そこから市原ロータリー・クラブの歩みを知ることができます。上條さんの酒豪の番付けやゴルフの番付けの話などもあったように、クラブの歴史や当時の雰囲気を知るには記念誌見ていただくのが一番だと思います。複製版を作るのも一計かと思えます。

今日の卓話は32年間市原 RC のメンバーとしての体験と、ロータリーを通していろいろな人との交流から、世間の広さや人生観、趣味において感化されて、価値観が変化し、人生に豊かな彩をもたらしています。これは私にとってロータリーの恩恵というか、ロータリーからの素晴らしい贈り物であると思います。このあたりを話してみます。

3月6日は家内の誕生日で3月8日は49回目の結婚記念日になります。男女7歳にして席を同じうせずの教育を受けて育ったものですから、結婚当初から所謂亭主関白でいました。結婚20年目にロータリークラブに入会しましたが、依然として女房との関係は亭主関白を続けていました。

ロータリーの役を担ううちに家族同伴の行事が多くなり、次第に女房の言い分を少し聞かなければならなくなりました。それでも上の空で聞き流し、その場を過ぎればよいと言う状況でいました。今にして思えば家内は忍耐の連続であったと思います。

そのうちロータリーの理念から、また先輩会員の睦まじい奥様との関係に接するにつれ、影響を受けてまいりました。決定的になったのは、どうしても女房の協力を得なければどうにもならない切迫した状況に陥り、根底から夫婦関係を見直しせざるを得なくなったことです。つまり、亭主関白の行動を一切返上せざるを得なくなったのです。いままでにないことでした。

女房と目線を同じくするオープンな関係を意識することから始まりました。つまり女房の存在を意識し、尊重する。大げさに言えば女房を尊敬するということです。それからは一度一度むくれるように関係が良くなり、いまに至っています。これはロータリーから学んだ。地位・名誉など関係なくロータリアンはすべて 対等、オープンであることと、家族同伴のプロジェクトが多いことから精神的にも、物理的にも女房の存在をしっかりと認めざるを得ないことです。この強制的ともいえるロータリーの圧力により、得がたい幸せをつかんでいます。私にとって、これは大きなロータリーからの恩恵となりました。このようなことを述べるのは大いに照れますが、事実です。

この関係は自分の周囲の人にも対等な関係に気をつけるようになりました。お互いに胸襟を開いた話ができるようになり、価値観の違いを認めあうことから始まる対話からお互いの考えが、良い方向に変化していくようになり、心の通う友人ができてまいりました。さらに世界が開けてきたように思います。聞く力というか、聴く耳を持つ力の効果を知りました。老化とともに聴く耳を持てなくなるのが通例なのに、ロータリーのおかげで人の話を虚心坦懐になって聴けるようになったことは、素晴らしい贈り物だと思います。また、これがロータリーという自己研鑽の基本であるかと思えます。

もしオープンな関係が壊れてしまい、会員同士が対等である関係がなくなってしまったら、ロータリーの基本はすべて崩れてしまい、ロータリーの魅力の大きな部分がなくなってしまいます。

私が入会した時は、約1/3のメンバーが大手企業の代表でした。ロータリーはどんな地位の人でも代理は認めていませんので、クラブの行事に所長クラスのメンバーが嬉々として参加しているのが、市原ロータリー・クラブの特長でした。そこではグローバルな視野の広い人との出会いがありました。ロータリーのセミナーの帰りに、千葉のバーやクラブで懇親会があり、そこでの会話からもいろいろと啓蒙されました。

こんなこともありました出光石油の山本さんとは、学部は異なるのですが同級生であり、山本さんとは家内が、ほとんど同士のであることが親戚の法事で分かったこともあります。山本さんは石油に関する切手の収集では世界一の蒐集家でしたが、早く亡くなったのが残念です。また、極東石油の齋藤信さん、阿部総務課長にはPJ・RCとの第1回の交換学生では大変お世話になりました。PJ・RCとの青少年交換のルールの取り決めや、連絡はすべて手紙でやりとっていました。齋藤信さんは北帰行の作詞・作曲家と大連の高校で同級生であったとのこと。そして終戦時の大連では日本人の混乱と不安は相当なものであったそうです。しかし、戦時中の使用人が共産党のシンパであったので、その使用人が齋藤さん一家を庇ってくれたという体験から、国際親善とは、国と国との関係よりも、個人と個人との関係であると言っていたことが印象に残っています。

齋藤さんは退社後、石油関係の会社立て直しの仕事に携わっていた時、ロータリーの四つのテストを徹底して守ったことが会社の再建に効果があったという話を聴きました。そこで四つのテストを改めて真剣に見直したことがありました。

35周年記念事業となったスロバキアのシャリシャンという学生で構成している民族舞踊団の公演とか、ソプラノ歌手である佐藤則子さんのコンサートや、山田守さんの愛のミニコンサート、さらに40周年に備えての市原 RC の創立からのエピソードを交えた対談を纏めたこと、その対談の纏めより数倍も苦勞して作成したお手元の年表の作成ですが、良い思い出になっています。今思うと何処にそんなエネルギーがあったのかなと思ひます。

市原のケーブルTVに齋藤先生と出演し、ロータリーの話と民族舞踊団シャリシャンの解説をしたこともあります。ビデオに収録し、記念として皆様にて配布いたしました。

いろいろな経験をしましたが、今振り返ると自力でなく他力によってロータリーの道を歩んできたようです。最初から目的を持って、あるいは目標を設定してロータリーの任務をこなしたのではなく、すべては他人から与えられた役を真面目にこなしてきました。つまり、自力でなく他力によって育てられてきたのです。その体験を通してロータリーから多くの感動を得、感化され、自己研鑽して、自分の人生に豊かな彩を添えてきたように思います。

最近、ロータリー活性化に対話を重要視するようになり、相手の考えを良く聴きだす訓練を重ねて「聞く力」を身につけています。最初の話になりますが、家内との調和が保たれて良好な関係に至っているのも、この「聞く力」が出発点になっています。

しかし、良いことばかりではありません。今までに、ロータリーを辞めようかとの思いは何回もありました。もしロータリーに入会していなかったら、もし辞めてしまったら、このようなロータリーの恩恵を授かりませんでした。そんなロータリーに報いるには、ロータリーからの恩恵や良さや少しでも伝えていくことだと思っています。

ロータリーを自分のためになるようにする第1歩は、ロータリーの歴史、クラブの歴史を学ぶことが実に大切ではないでしょうか。ドイツの鉄血宰相といわれたビスマルクの言葉に「愚者は経験に学び、賢者は歴史に学ぶ」といって歴史を学ぶことの大切さを説いています。歴史上の知識だけでなく、何故そのような過程をたどって歴史は作られてきたかを問い、心の動きにまで研鑽して学びとることが肝心であると思います。市原ロータリー・クラブの歴史を皆様と共有したいと思います。

ロータリーのモットーである”Service Above Self”「自分のことより他の人のことをまず考える」を最近になって理解し、少し言行一致ができてきたように思います。そこから友をえたことと、奉仕の楽しさは他の何ものにも変えたいものです。

終わりになりますが、この間、数人の方と炬燵談話行いました。そこでロータリーのオープンな関係や出席率など談論風発の中で「決めたことを守らないロータリーに魅力はない。出席率やオープン云々の前に最低決められていることは守りたい。それができていないロータリーに魅力を感じていない」と言われました。大きなショックというか、鉄槌を下された思いでした。本当に守るべき事を守らないで、親睦だ、奉仕だ、理念だ、哲学だという以前の問題です。ロータリークラブの約束事であるクラブ定款や細則があります。それに則ったクラブ運営、奉仕活動を愚直に実践していくことが、今求められています。「決めたことを守らないロータリーに魅力はない。」の言を強く戒めとして反省しなければならないと心の底から思いました。オープンな関係である炬燵談話は素晴らしいです。

今日、市原ロータリークラブの歴史というより、私のロータリーの恩恵を話しました。卓話の範囲を超えているのですが、「決めたことを守らないロータリーに魅力はない。」という問題を提起して卓話を終わりにいたします。

ありがとうございました。

☺ニコニコ ☺ソーリー

○千葉緑 RC 中島東一会長 核福男新世代委員長

こんにちは

4月15日の千葉緑 RC のチャリティーゴルフコンペに多数様お申込み頂き有難うございます。

○白鳥会員

卓話させていただき有難うございました。

○小川会長・長田幹事

4月15日は宜しく致します。

白鳥会員、本日は市原 RC の歴史について貴重なお話を有難うございました。



白鳥政孝会員

誕生祝い

赤星会員・角谷会員

西村(芳)会員・福原会員

結婚祝い

小池会員・白鳥会員

山田会員・長田会員

本日出席32名

本日欠席15名

本日出席率 68.09%